

沖縄県子どもの居場所ネットワーク 趣意書

1 ネットワークの趣旨

子どもの安心や多様な学び・体験、多世代との交流の場、地域のつながりや見守りの役割を果たす場所として、子どもの居場所づくり活動が広がりをみせ、沖縄県内でも市町村が支援を行う居場所や、民間による居場所も増加しています。

そのような中、個々の取り組みやノウハウが共有されにくい、また企業等からの支援の受入についても、個別の対応・調整となっており支援につながりにくいといった課題があり、居場所間や地域の中でのネットワークの構築が必要です。

そこで沖縄県社会福祉協議会では、居場所の運営者、地域の支援者等がゆるやかにつながり、子どもの居場所からはじまる地域の支え合いのネットワークをつくることを目的に、県が進める沖縄子供の貧困緊急対策事業に基づく本事業をTHANKS（サンクス）運動の一環として実施することとしました。

本ネットワークでは、子どもの居場所を広めるための講演会の開催、地域の中での支援の輪をつくる連絡会の開催、さらに、各居場所の活動や情報等をお届けし、子どもの居場所の活動の推進に取り組んでいきたいと考えています。賛同いただける方はぜひ参加し、一緒にネットワークを育てていきましょう。

2 主な取り組み内容

- (1) 子どもの居場所の活動について把握し、居場所間、学校や地域住民との連携を図る中で、子どもの居場所について、誰もが行きやすい居場所の推進、また、地域の中でより良い活動づくりを一緒に目指しましょう。
- (2) 地域住民等に対して子どもの居場所づくりへの理解を深め、活動の輪を広げるため、広報活動を通じて活動に役立つ情報の収集・発信を行います。
- (3) 子どもの居場所の活動する上での課題を把握し、必要な時には専門的な支援を実施する拠点型子どもの居場所へつながるような重層的な仕組みづくりを目指します。
- (4) 子どもの居場所の活動支援のため、企業等はじめ行政、関係団体と連携を図ります。

